

# ポリウレタン表面加工処理されたリノリウムのメンテナンスレポート

## 床材の性質

- 一般のリノリウム(ポリウレタン表面加工処理されていないリノリウム)と比較し、耐摩耗性に優れる。
- 吸い込みはほとんどない。(ただし、床表面のポリウレタン層が摩耗されると、吸い込みが非常に多くなる。)
- 紫外線(自然光の照射)により、退色する場合がある。
- 樹脂ワックスの密着性および耐水密着性(水などの影響による樹脂ワックスの剥がれにくさ)に劣る。
- 耐洗剤性に劣る。  
※アルカリ性ハクリ剤によって変色することがある。

## メンテナンスポイント&注意点

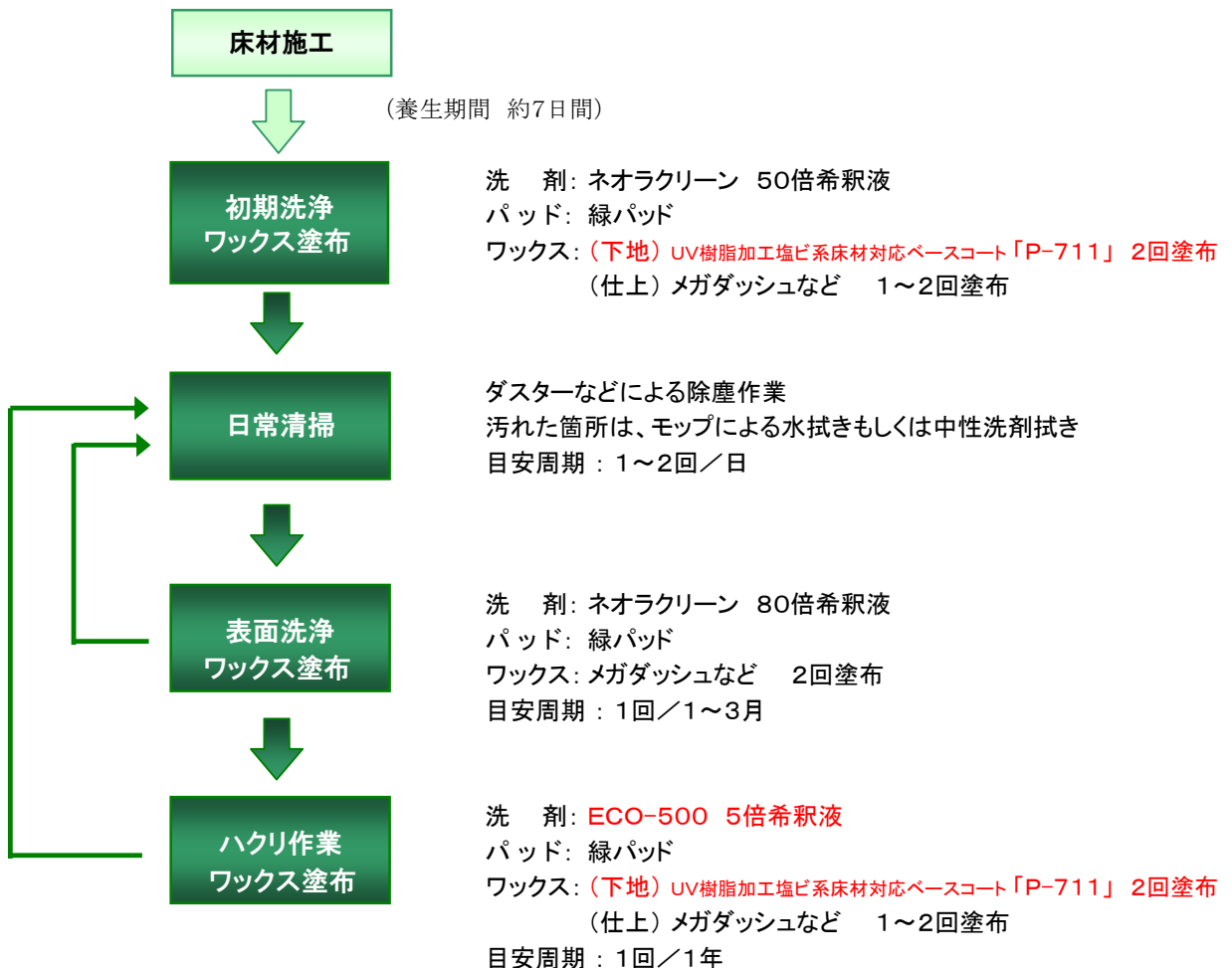
一般のポリウレタン表面加工処理されていないリノリウムは、樹脂ワックスの密着性は良好な床材ですが、ポリウレタン表面加工処理されたリノリウムは、樹脂ワックスの密着性(特に耐水密着性)に劣り、リノリウム専用シール剤「リノフィットスーパー」でも十分な密着性が得られません。

そのため、**ポリウレタン表面加工処理されたリノリウムへの密着性および耐水密着性に優れた下地用樹脂ワックス「P-711」を選定**します。

なお、引き渡し清掃などで既にワックスが塗布されている場合は、密着および耐水密着テストを行い、もし密着していない場合は、中性ハクリ剤でハクリ作業を行ってから、「P-711」を下地に塗布します。

また、リノリウムはアルカリ性ハクリ剤で変色しやすい床材のため、ハクリ作業の際は中性ハクリ剤を使用しなければなりませんので、仕上用樹脂ワックスとしては、ハクリ性に優れた「パーモソフトテカ」「メガダッシュ」「ECO-100プレミアム」「パーモスターPROEX」(病院現場の場合は「アルテクト」)などが適します。

## メンテナンスサイクル例



# メンテナンスポイントおよび作業方法

## 初期洗浄・ワックス塗布作業

ポイント

- 床材施工後の養生期間を置いてから、本作業を行います。
- 床材表面に床材施工に用いた接着剤跡がある場合は、きちんと除去します。
- 引き渡し清掃などで既にワックスが塗布されている場合は、密着および耐水密着テストを行い、もし密着していない場合は、中性ハクリ作業を行ってからワックスを塗布します。
- 巾木に付着した洗浄汚水は、乾く前にタオルで水拭きし、拭き取ります。
- 下地に密着性および耐水密着性に優れた下地用樹脂ワックス「P-711」を必ず2層塗布します。
- ※下地剤の塗布が1層だけですと、十分な耐水密着性が得られない場合があります。
- 仕上用の樹脂ワックスは、ハクリ性の良いものを選定します。

作業手順

### 除塵・粗ゴミ除去

＜ダスターや自在ホウキ、チリトリを使用＞

- ・ダスター等を用い、除塵作業を行います。

### 養生

＜養生マスキングを使用＞

- ・必要に応じ、養生マスキングを用い、什器などが汚れないように養生します。

### 洗剤塗布

＜洗剤用モップ、床洗剤(ネオラクリン)を使用＞

- ・ネオラクリン50倍に希釈し、洗剤用モップで塗布し、約5分間放置します。
- \*洗剤を希釈する際は、計量カップなどもを用い正しく希釈します。

### 洗浄

＜ポリッシャー、緑パッドを使用＞

- ・ポリッシャーに緑パッドを取り付け、かけムラの無いよう丁寧に洗浄します。
- \*洗浄汚水の飛散防止のために飛散防止カバーをポリッシャーに装着します。
- \*ポリッシャーが当たらない壁際などは、ハンドパッドで擦り洗いします。

### 汚水回収

＜吸水バキューム、フロアスクイジーを使用＞

- ・洗浄後は、速やかに洗浄汚水を回収します。
- ・壁際やコーナー部の汚水は、フロアスクイジーを使用します。

### 水拭き

＜水拭き用モップを使用＞

- ・床面が乾燥する前に、水拭き用モップで3回水拭きします。
- \*モップが汚れたら、早めに交換します。
- \*面積の広い現場では、自動床洗浄機による水洗浄が効果的です。

### 乾燥

＜送風機を使用＞

- ・送風機を用い、床面を乾燥させます。

### 樹脂ワックス塗布

＜ワックス用モップ、樹脂ワックス(下地:P-711、仕上:メガダッシュなど)を使用＞

- ・ワックス用モップで樹脂ワックスを均一に塗り残しの無いよう塗布します。
- \*塗り重ねる際は、十分に乾燥させてから(ベタツキ感がなくなってから)行ないます。

### 乾燥

＜送風機を使用＞

- ・送風機を用い、床面を乾燥させます。
- \*塗布直後(ワックスが濡れているうち)は、直接床面に風は向けず、最初は上に向けてワックスが乾きだしてから徐々に床面に向けるようにします。

## 日常清掃

ポイント

- 帯電モップは帯電剤が床面に移り、汚れの原因となることがあるので使用は避けます。
- ヒールマーク汚れは、モップなどで擦り落とします。
- 洗剤を使用する場合は、樹脂ワックスに影響のない中性洗剤を使用します。
- 雨天日は、雨水による汚れや滑りによる転倒防止のため、雨天時用マットを設置し、持ち込まれた雨水や土砂は早めに取り除きます。
- 広い面積の現場は、自動床洗浄機による洗浄が効果的です。

作業手順

除塵・粗ゴミ除去

<ダスターや自在ホウキ、チリトリを使用>

・ダスター等を用い、除塵作業を行います。

モップ拭き

<水拭き用モップ、必要に応じ中性洗剤(NEWプロインパクト中性など)を使用>

・汚れた箇所やヒールマーク汚れは、モップで拭き取ります。

\*油汚れが多い現場は、中性洗剤(NEWプロインパクト中性 50倍希釈)を使用します。

## 表面洗浄・ワックス塗布作業

ポイント

- 光沢の低下や汚れが目立ってきたら、本作業を行います。
- 洗剤を希釈する際は、計量カップなどを用い正しく希釈します。
- ポリッシャーが当たらない壁際などは、ハンドパッドで擦り洗いします。
- ポリッシャー洗浄でも落ちないヒールマーク汚れは、ハンドパッドで擦り落とします。
- 床表面が平らでなく不陸がある場合は、ポリッシャーで洗浄する際、横方向だけでなく、縦方向にも掛けます。
- 巾木に付着した洗浄汚水は、乾く前にタオルで水拭きし、拭き取ります。
- ワックスを塗り重ねる際は、十分に乾燥させてから(ベタツキ感がなくなってから)行います。

作業手順

### 除塵・粗ゴミ除去

＜ダスターや自在ホウキ、チリトリを使用＞

- ・ダスター等を用い、除塵作業を行います。

### 養生

＜養生マスキングを使用＞

- ・必要に応じ、養生マスキングを用い、什器などが汚れないように養生します。

### 洗剤塗布

＜洗剤用モップ、床洗剤(ネオラクリン)を使用＞

- ・ネオラクリンを80倍に希釈し、洗剤用モップで塗布し、約5分間放置します。
- \*洗剤を希釈する際は、計量カップなどもを用い正しく希釈します。

### 洗浄

＜ポリッシャー、緑パッドを使用＞

- ・ポリッシャーに緑パッドを取り付け、かけムラの無いよう丁寧に洗浄します。
- \*洗浄汚水の飛散防止のために飛散防止カバーをポリッシャーに装着します。
- \*ポリッシャーが当たらない壁際などは、ハンドパッドで擦り洗いします。

### 汚水回収

＜吸水バキューム、フロアスクイジーを使用＞

- ・洗浄後は、速やかに洗浄汚水を回収します。
- ・壁際やコーナー部の汚水は、フロアスクイジーを使用します。

### 水拭き

＜水拭き用モップを使用＞

- ・床面が乾燥する前に、水拭き用モップで3回水拭きします。
- \*モップが汚れたら、早めに交換します。
- \*面積の広い現場では、自動床洗浄機による水洗浄が効果的です。

### 乾燥

＜送風機を使用＞

- ・送風機を用い、床面を乾燥させます。

### 樹脂ワックス塗布

＜ワックス用モップ、樹脂ワックス(メガダッシュなど)を使用＞

- ・ワックス用モップで樹脂ワックスを均一に塗り残しの無いよう塗布します。
- \*塗り重ねる際は、十分に乾燥させてから(ベタツキ感がなくなってから)行ないます。

### 乾燥

＜送風機を使用＞

- ・送風機を用い、床面を乾燥させます。
- \*塗布直後(ワックスが濡れているうち)は、直接床面に風は向けず、最初は上に向けてワックスが乾きだしてから徐々に床面に向けるようにします。

## ハクリ・ワックス塗布作業

ポイント

- 表面洗浄作業では、汚れが落ちにくくなったら、本作業を行います。
- ハクリ作業を行わない場所との境や、什器下に汚水が流れ込んでしまう場所は、養生マスキングで養生します。
- 中性ハクリ剤「ECO-500」を必ず使用します。**
  - ※アルカリ性ハクリ剤を使用すると、リノリウムを変色させてしまいます。
- パッドは、リノリウムを摩耗させないよう緑パッドを使用します。
- ハクリ後(ポリッシャーがけ後)の汚水は、乾く前に素早く回収します。
- ハクリ後(汚水回収後)に水洗浄を行うと、ハクリ剤成分を完全に除去、ワックスの仕上がりが良くなります。
- 下地に密着性および耐水密着性に優れた下地用樹脂ワックス「P-711」を必ず2層塗布します。
  - ※下地剤の塗布が1層だけですと、十分な耐水密着性が得られない場合があります。
- 仕上用の樹脂ワックスは、ハクリ性の良いものを選定します。

作業手順

